

コンクリート・モルタル水分計 HI-540

Kett



取扱説明書

お買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

安全上のご注意

コンクリート・モルタル水分計は、安全のための注意事項を守らないと、物的損害などの事故が発生することがあります。製品の安全性については十分に配慮していますが、この説明書の注意をよく読んで正しくお使いください。

■安全のための注意事項をお守りください。

取扱説明書に記載の注意事項をよくお読みください。

■故障した場合は使用しないでください。

故障および不具合が生じた場合は、必ず当社修理サービス窓口にご相談ください。

■警告表示の意味

取扱説明書および製品には、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐため、次のようなマーク表示をしています。マークの意味は次のとおりです。



お願い

この表示は、本器を安全に使うために、必ず励行していただきたいことがらを示しています。

目次

1. コンクリート・モルタル水分計HI-540型の特長.....	4
2. 仕 様	5
3. 各部の名称.....	6
4. 表示部の説明.....	8
5. 電池のセット.....	9
6. 測定方法.....	10
7. 各種設定.....	12
8. 測定上の注意.....	32

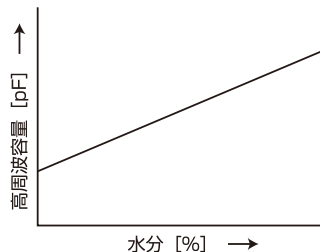
1. コンクリート・モルタル水分計HI-540型の特長

● はじめに

本器は、本体と検出部を一体化したハンディタイプの高周波水分計です。人工軽量骨材、コンクリート、石膏ボード、コンクリート、ALC、モルタル、ケイ酸カルシウム板などの水分を測定できます。また測定物に押し当てるだけで、水分を直接デジタル表示します。コンクリート建材製造業、防水工事業、塗装業などの建設・土木業界での水分管理用機器として広くご利用いただけます。

● 測定原理

コンクリートやモルタルなどの材料は、水分を含むと見かけ上の高周波容量が増加します。あらかじめ水分と高周波容量の関係を求めてから測定すると、水分を知ることができます。この原理を応用して、水分値をデジタル表示させたのが本器です。



2. 仕 様

測定方式：高周波容量式(20MHz)

測定対象と範囲：	コンクリート	0～8%
	モルタル	0～15%
	ALC	0～100%
	人工軽量骨材コンクリート (ALAコンクリート)	0～23%
	石膏ボード	0～50%
	ケイ酸カルシウム板	0～15%
	コンクリート (HI-520)	0～12%
	Dモード	0～1999
	Sモード	0～1100

水分値ではなく、0～1999の数値を表示します。Dモードは比較的深めの水分を測定し、Sモードは比較的浅めの水分を測定します。詳しくはP.15を参照してください。

機能：各種設定(5種)

測定精度：±0.5%(コンクリート・モルタル)

表示：デジタル(LCD)

電源：電池9V(006Pアルカリ)×1

消費電力：350mW

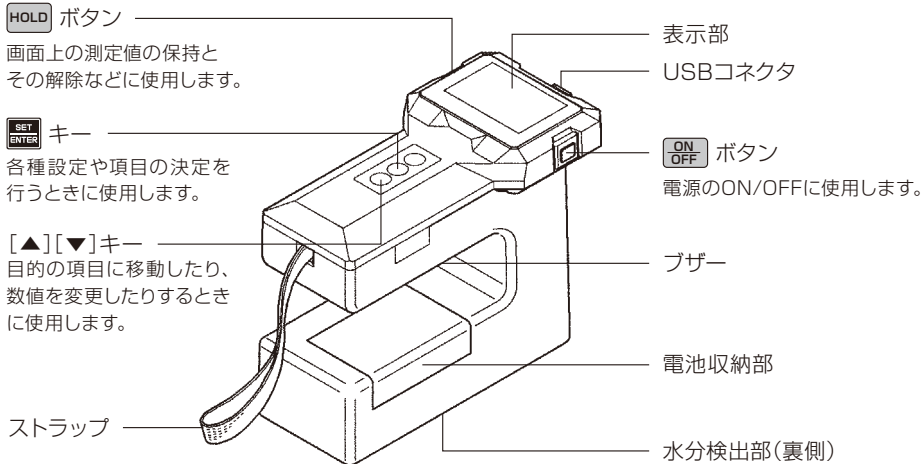
寸法・質量：72(W)×146(D)×118(H) mm、約0.39kg

付属品：電池9V(006Pアルカリ)×1、キャリングポーチ、取扱説明書

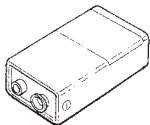
オプション：データロガーソフト HDL-02、スマートフォンアプリ COMOラボ

3. 各部の名称

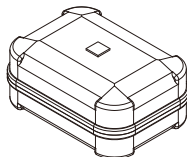
<本体>



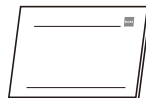
<付属品>



電池9V
(006Pアルカリ)×1

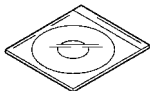


キャリングポーチ



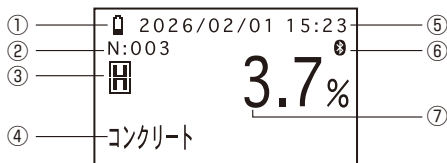
取扱説明書

<オプション>



データロガーソフト
HDL-02

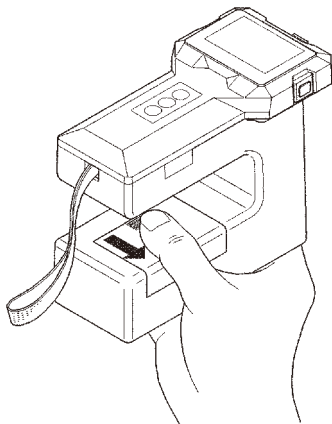
4. 表示部の説明



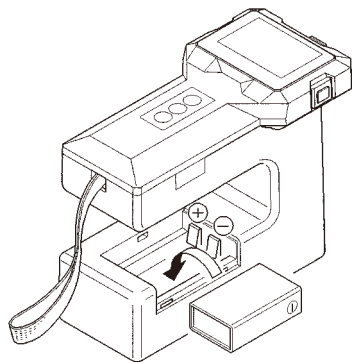
項番	表示内容
①	電池残量が少ない場合に表示されます。[🔋]残量少 [🔋]電池交換
②	データメモリーの設定を行っている場合に、データ番号が表示されます。
③	測定値をホールドしている場合に、アイコン(📌)が表示されます。
④	選択した測定対象を表示します。対象によっては板厚などが表示されます。
⑤	日付、時刻を表示します。
⑥	Bluetooth出力設定を行っている場合に、アイコン(📶)が表示されます。
⑦	測定値が表示されます。

5. 電池の取り付け

本器は電源として電池9V(006Pアルカリ) 1本を使用します。

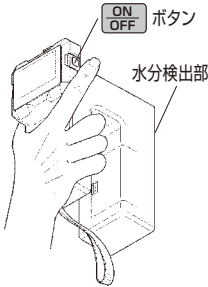



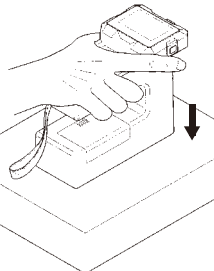
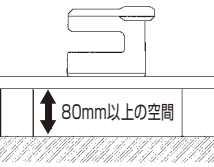
親指を矢印の方向へ引くと、
電池収納部のふたが外れます。




⊕ ⊖ の方向を確認して、電池
を正しく入れます。

6. 測定方法

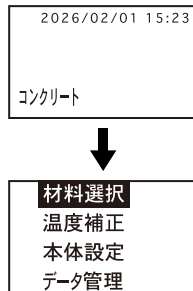
手順	操作	表示部	操作の解説
①	<p>測定の開始</p>  <p>ON/OFF ボタン 水分検出部</p> <p>測定画面が表示される まで空中へ向けた状態</p>	 <p>Kett 初期設定 データ取得 ver.1.0</p> <p>2026/02/01 15:23</p> <p>コンクリート</p> <p>例)コンクリート 測定画面</p>	<p>水分検出部を空中に向けた状態で、ON/OFF ボタンを押します。</p> <p>* 電源投入時に器械の調整を行っています。正確な測定を行うために、必ず水分検出部を空中へ向けた状態で電源を入れてください。また、測定画面が表示されるまで、水分検出部を空中に向けたままにしてください。</p> <p>ブザーが鳴った約3秒後に測定画面が表示されます。</p> <p>* 設定を変更した場合は、表示部が異なる場合があります。</p>

手順	操 作	表示部	操作の解説
②	<p style="text-align: center;">測 定</p> 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>2026/02/01 15:23</p> <p style="font-size: 2em;">3.7%</p> <p>コンクリート</p> </div> <p style="text-align: center;">例)測定結果</p>	<p>本体を図のように持ち、測定対象物に水分検出部の電極を軽く押し当てると測定結果が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 本器の水分目盛は、図のように持ち測定対象に軽く押し当てた状態を基準として作成されています。 * 測定結果は、水分検出部を測定対象に押し当てている間は表示されます。測定中に HOLD ボタンを押すと、そのときの測定結果が保持され、測定対象から離しても結果が表示されたままになります（ホールド状態）。もう一度、HOLD ボタンを押すと解除されます。 * 水分値が測定範囲を超えた場合は、オーバーレンジと表示されます。
	 <p style="text-align: center;">80mm以上の空間</p>		<p>(薄板を測定する場合)</p> <p>測定対象が厚さ40mm以下の場合、図のように測定箇所下方80mm以上の空間を作り測定してください。</p>
③	測定の終了		測定が終了したら、電源をOFFにします。

7. 各種設定

- 本器は測定画面で  キーを押すと、**1** ~ **5**の各種設定が選択できます。


	各種設定	機能	参照頁
1	材料選択	材料選択	P.13
2	温度補正	温度補正	P.16
3	本体設定	アラーム設定	P.17
		オートホールド設定	P.18
		ディスプレイ設定	P.19
		日付・時刻	P.20
4	データ管理	統計	P.21
		メモリーデータ表示	P.22
		データメモリー	P.23
		データ出力	P.24
		全データ削除	P.25
		Bluetooth	P.26
5	ユーザー 目盛設定	目盛選択	P.27
		ユーザー目盛設定	P.28



- * 各パターンの機能や意味については、(P.)で示したページをご参照ください。
- * 画面に表示されるのは4項目ですが、[▲][▼]キーを押してカーソルを移動させると**1** ~ **5**の順番でスクロールして表示されます。
- * 一度設定したら、次に設定するまで電源を切っても記憶しています。

1 材料選択

水分を測定する対象物を選択します。


(1) 設定画面で[▲][▼]キーを押して **材料選択** を選び、 キーを押します。

材料選択

温度補正

本体設定

データ管理

(2) [▲][▼]キーを押して測定対象を選択し、 キーで決定します。

- ①コンクリート ②モルタル ③ALC ④ALAコンクリート
- ⑤石膏ボード ⑥ケイ酸カルシウム ⑦コンクリート(HI-520)
- ⑧Dモード ⑨Sモード ⑩D/Sモード

2026/02/01 15:23

コンクリート

(3) 自動的に測定画面に戻ります。選択した材料名が表示されていることを確認します。

* 石膏ボードまたはケイ酸カルシウムを選択した場合は板厚を選択します。

1 材料選択

● HI-540コンクリート目盛について

本器(HI-540)のコンクリート目盛は、以下の2種類の検量線を搭載しています。

【コンクリート】..... 本器より搭載の新コンクリート目盛

【コンクリート(HI-520)]..... 前器種HI-520-2およびそれ以前で搭載されていたコンクリート目盛

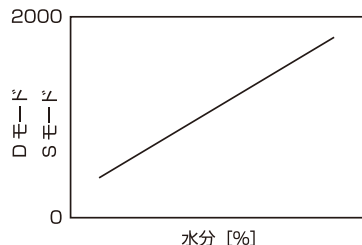
本器より搭載の新コンクリート目盛は、前器種HI-520-2以前に搭載されていたコンクリート目盛とは異なります。測定影響範囲および基準法である乾燥法の手法を再検討し、コンクリートの含水率と水分計の電気的特性値との関係を改めて求めました。そのため、従来のコンクリート検量線と異なる測定値を示しますが、実際のコンクリートの含水率に即した測定値となっています。

右表に、新旧コンクリート検量線の含水率の差を示します。用途に合わせてコンクリート目盛を選択してください。

含水率推定値(%)	
コンクリート	コンクリート (HI-520)
1.4	3.0
2.4	4.0
3.9	5.0

● Dモード/Sモードについて

Dモードは、水分値ではなく、高周波容量と相関のある0～1999の数値を表示します。水分とDモードの関係は、右の図のようになります。Sモードも同様に高周波容量と相関のある数値を出力しますが、測定深度が異なります。Dモードは比較的深めの水分を測定するのに対し、Sモードは比較的浅めの水分を測定します。

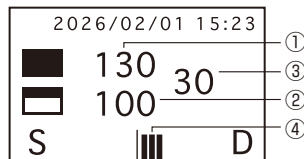


● D/Sモードについて

D/SモードではDモードとSモードの値を同時に測定し、これらの値の差を表示します。


また画面下部にはバーで動的に表現します。

- ①Dモード値
- ②Sモード値
- ③Dモード値-Sモード値
- ④バー表示



2 温度補正

内部の温度センサーで感知した温度をもとに、自動で温度補正を行います。測定器と測定対象の間に大きな温度差がある場合は手動で温度を設定できます。

(1) 設定画面で[▲][▼]キーを押して **温度補正** を選び、 キーを押します。

(2) [▲][▼]キーを押して **設定しない** **自動補正** **手動補正** のいずれかを選択し、 キーで決定します。

* 設定しないを選択した場合は温度による補正を行いません。

* 手動補正を選択した場合は-10～70℃の範囲で入力します。





(3) 設定が保存され、自動的に測定画面に戻ります。

材料選択
温度補正
本体設定
データ管理

設定しない
自動補正
手動補正

3 本体設定「アラーム設定」

上限水分を設定できます。測定された水分値が設定値より高いとブザーが鳴ります。

- (1) 設定画面で[▲][▼]キーを押して **本体設定** を選び、 キーを押します。次に、**アラーム設定** を選び、 キーを押します。
- (2) [▲][▼]キーを押して **上限値の設定** を選択し、 キーで決定します。
- (3) [▲][▼]キーを押して水分値を選択します。
* 設定できる水分値の範囲は2～40%です。
- (4)  キーを押すと設定が保存され、自動的に測定画面に戻ります。






材料選択
温度補正
本体設定
データ管理

アラーム設定
オートホールド設定
ディスプレイ設定
日付、時刻

設定しない
上限値の設定
40 %

3 本体設定「オートホールド設定」

測定値が一定時間安定している場合に、測定結果画面を自動で保持するように設定できます。

- (1) 設定画面で[▲][▼]キーを押して**本体設定**を選び、 キーを押します。次に、**オートホールド設定**を選び、 キーを押します。
- (2) [▲][▼]キーを押して**設定する**を選択し、 キーで決定します。
- (3)  キーを押すと設定が保存され、自動的に測定画面に戻ります。
 - * 測定結果が保持されている状態で本器を測定物から空気中に持ち上げた後、再度測定物に押し当てることで自動的にホールド状態が解除され、再度測定が開始されます。
 - * 自動的にホールドされたときと解除されたときにはブザーが鳴ります。
 - * 測定結果が保持されている状態で  ボタンを押すことで、ホールド状態の解除ができます。
 - * 測定値が安定しないときは、P.32「8. 測定上の注意」を参照してください。





材料選択
温度補正
本体設定
データ管理

アラーム設定
オートホールド設定
ディスプレイ設定
日付、時刻

設定しない
設定する

3 本体設定「ディスプレイ設定」

バックライトの明るさやコントラストを設定できます。

- (1) 設定画面で[▲][▼]キーを押して **本体設定** を選び、 キーを押します。次に、**ディスプレイ設定** を選び、 キーを押します。
- (2) [▲] [▼]キーを押して **バックライト明るさ** または **コントラスト設定** を選択し、 キーで決定します。
- (3) [▲] [▼]キーを押してバックライトの明るさまたはコントラストを選択します。
 - * バックライトの明るさは明るい、暗い、消灯の3段階を選択できます。
 - * コントラストは1(薄) ~ 10(濃)の10段階を選択できます。
- (4)  キーを押すと設定が保存され、自動的に測定画面に戻ります。
 - * バックライトを設定すると、電池の消耗が早くなります。
 - * 電池節約のため、何も操作を行わないと約10秒後にバックライトが消えます。何か操作をするとバックライトが再び点灯します。



材料選択
温度補正
本体設定
データ管理

アラーム設定
オートホールド設定
ディスプレイ設定
日付、時刻

バックライト明るさ
コントラスト

3 本体設定「日付、時刻」

日付と時刻の設定ができます。

(1) 設定画面で[▲][▼]キーを押して**本体設定**を選び、キーを押します。次に、**日付、時刻**を選び、キーを押します。

材料選択
温度補正
本体設定
データ管理

(2) 「年」を設定します。[▲][▼]キーで選択し、キーで決定します。

アラーム設定
オートホールド設定
ディスプレイ設定
日付、時刻





(3) 同様に「月、日、時、分」の順に設定します。

(4) 設定が保存され、測定画面に戻ります。

日付 20**26**/02/01
時刻 15:23

4 データ管理「統計」

メモリーに保存したデータを使用して統計計算を行います。
最大値、最小値、標準偏差が表示されます。

- (1) 設定画面で [▲] [▼] キーを押して **データ管理** を選び、 キーを押します。次に、**統計** を選び、 キーを押します。
- (2) 計算に使用するデータ番号の範囲を [▲] [▼] キーで選択し、 キーで決定します。
- (3) 計算結果が表示されます。[▲] [▼] キーを押すと画面がスクロールして他の項目が表示されます。
- (4)  ボタンを押すと測定画面に戻ります。

* メモリーに保存されているデータ数が1点以下の場合には統計機能を利用できません。画面に「No Data」と表示される場合は2点以上のデータを保存してください。

* P.22「4 データ管理「メモリーデータ表示」で削除を行ったデータは統計計算に利用されません。

材料選択
温度補正
本体設定
データ管理

統計
メモリーデータ表示
データメモリー
データ出力

Data No:
001 ~ **003**

番号 0001~0003
データ数 0003
最大値 3.5
最小値 3.1

4 データ管理「メモリーデータ表示」





メモリーに保存したデータを表示します。また、選択したデータの削除が行えます。

材料選択
温度補正
本体設定
データ管理

統計
メモリーデータ表示
データメモリー
データ出力

001 コンクリート	3.3 %
002 コンクリート	3.5 %
003 コンクリート	3.1 %

001 コンクリート	3.3 %
002 コンクリート	3.5 %
003 コンクリート	3.1 %
Delete? YES	NO

- (1) 設定画面で [▲] [▼] キーを押して **データ管理** を選び、 キーを押します。次に、**メモリーデータ表示** を選び、 キーを押します。
- (2) 保存されているデータ番号、測定対象物、測定値が一覧で表示されます。一度に表示されるデータは3点までですが、[▲] [▼] キーを押してカーソルを移動させることで画面がスクロールして前後のデータが表示されます。
- (3) データを削除するときは、削除したいデータ番号にカーソルを合わせて、 キーを押します。削除するかの確認が表示されたら、[▲][▼]キーを押して **Yes** にカーソルを合わせて決定します。削除しない場合は **No** を選択します。
- (4)  ボタンを押すと測定画面に戻ります。

4 データ管理「データメモリー」

内部のメモリーに測定データを保存できます。

- (1) 設定画面で[▲][▼]キーを押して **データ管理** を選び、**SET/ENTER** キーを押します。次に、**データメモリー** を選び、**SET/ENTER** キーを押します。
- (2) [▲][▼]キーを押して **メモリーする** を選択します。
- (3) **SET/ENTER** キーを押すと設定が保存され、測定画面に戻ります。
 - * データを保存しない場合は **メモリーしない** を選択し、**SET/ENTER** キーを押してください。
 - * 測定時に **HOLD** ボタンを押す、またはオートホールドが行われると、測定データがデータ番号1から順番に保存されます。データ番号が999を超えるとデータ番号1に戻り、上書き保存されます。
 - * 保存したデータを確認するときは、P.22「**4** データ管理「メモリーデータ表示」」を行ってください。
 - * 保存したデータを外部出力するときは、P.24「**4** データ管理「データ出力」」を行ってください。

材料選択
温度補正
本体設定
データ管理

統計
メモリーデータ表示
データメモリー
データ出力

メモリーする
メモリーしない

4 データ管理「データ出力」



内部メモリーに保存した測定データをPCに出力できます。

* データをPCに出力するには、データロガーソフトHDL-02 (オプション) が必要です。Excelの搭載されたWindows環境で使用してください。

材料選択
温度補正
本体設定
データ管理

統計
メモリーデータ表示
データメモリー
データ出力

出力する
戻る

(1) 設定画面で[▲][▼]キーを押して **データ管理** を選び、 キーを押します。次に、**データ出力** を選び、 キーを押します。

(2) [▲][▼] キーを押して **出力する** を選択します。

(3)  キーを押すとデータがPCに出力され、測定画面に戻ります。

* データを出力しない場合は **戻る** を選択し、 キーを押してください。

* PC側でデータロガーソフトHDL-02を実行し、データ受信待機状態にしてください。詳細な使用方法はHDL-02付属の取扱説明書をご覧ください。

* 一定時間PCとの通信ができないときは、自動で測定画面に戻ります。

4 データ管理「全データ削除」

内部のメモリーに保存した測定データをすべて削除できます。

- (1) 設定画面で[▲][▼]キーを押して **データ管理** を選び、**SET ENTER** キーを押します。次に、**全データ削除** を選び、**SET ENTER** キーを押します。
- (2) [▲][▼]キーを押してもう一度、**全データ削除** を選択します。
- (3) **SET ENTER** キーを押すと保存データがすべて削除され、測定画面に戻ります。
 - * データを削除しない場合は **戻る** を選択し、**SET ENTER** キーを押してください。
 - * 内部メモリーのすべての測定データが削除され、データ番号は0に戻ります。
 - * 特定のデータのみを削除する場合は、P.22「4 データ管理「メモリーデータ表示」から行ってください。
 - * この操作を行っても、各種機能や補正の設定は削除されません。内部メモリーの測定データのみが削除されます。

材料選択
温度補正
本体設定
データ管理

メモリーデータ表示
データメモリー
データ出力
全データ削除

全データ削除
戻る


4 データ管理「Bluetooth」

Bluetoothによるデータ出力の設定ができます。

(1) 設定画面で[▲][▼]キーを押して **データ管理** を選び、 キーを押します。次に、**Bluetooth** を選び、 キーを押します。

(2) [▲][▼]キーを押して、**出力する** を選択します。

(3)  キーを押すと設定が保存され、測定画面に戻ります。

* 測定時に  ボタンを押す、またはオートホールドが行われると、測定データが出力されます。

* **全データ出力** を選択すると、P.23「4 データ管理「データメモリー」」で保存したデータが全て出力されます。

* 本機能は日本国内でのみ使用できます。海外で使用する場合は現地の法規制に従ってください。



* データ受信は専用スマートフォンアプリ COMOラボをご使用ください。


材料選択
温度補正
本体設定
データ管理

データメモリー
データ出力
全データ削除
Bluetooth

出力する
出力しない
全データ出力

5 ユーザー目盛設定「目盛選択」

(1) 設定画面で[▲][▼]キーを押して **ユーザー目盛設定** を選び、 キーを押します。次に、**目盛選択** を選び、 キーを押します。

(2) [▲] [▼] キーを押して、**ユーザー 0～7** を選び  キーを押します。

* ユーザー目盛が設定されていない場合、その目盛は選択できません。
設定方法はP.30「②ユーザー目盛設定」を参照してください。

(3)  キーを押すと、目盛を設定した測定画面に戻ります。

温度補正
本体設定
データ管理
ユーザー目盛設定

目盛選択
ユーザー目盛設定
戻る

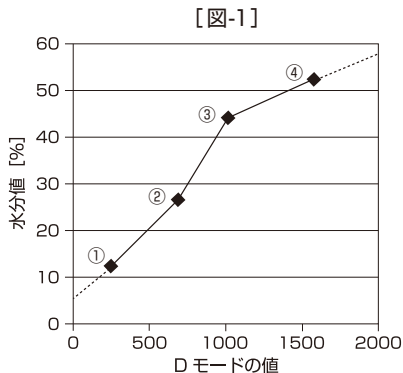
ユーザー4
ユーザー5
ユーザー6
ユーザー7

2026/02/01 15:23
N:0016
 78.8
 99.6
拡 ユーザー5 N:0016

5 ユーザー目盛設定「ユーザー目盛設定」

● ユーザー目盛とは？

本器の目盛は、高周波容量と水分値の関係を基に作成されています。Dモードは高周波容量と相関があり、測定対象の水分値とDモード値の関係が分かれば、高周波容量と水分値の関係が得られます。この関係を利用し、ユーザー独自に作成する目盛をユーザー目盛と呼び、これを利用することで本器に予め登録された対象物以外でも、測定することができます。ユーザー目盛を作成するには、水分の異なるサンプルを複数(2～8点)用意し、それぞれのDモード値および他の測定手法による水分値を求めます([図-1]参照)。



* 最小で2点、最大で8点のサンプルが必要です。[表-1]のように、Dモード値の小さい方から順に並べます。各点を、折れ点と呼び、折れ点の間は直線で結ばれます。目盛の最小点以下および最大点以上については、隣接する線の延長線が適用されます。右のグラフの例では、①以下は①-②の延長線が適用され、④以上は③-④の延長線が適用されます。

* Dモードと同様にSモードでもユーザー目盛を作成できます。



* データロガーソフト HDL-02(オプション 別売)を使用すると、簡単にユーザー目盛を設定できます。

[表-1]

	Dモード	水分値
①	246	12.4
②	688	26.7
③	1015	44.2
④	1578	52.3


5 ユーザー目盛設定「ユーザー目盛設定」

例) ユーザー目盛番号1 に Dモード246、水分値12.4を入力する場合

(1) 設定画面で [▲] [▼] キーを押して、**ユーザー目盛設定** を選び  キーを押します。次に、**ユーザー目盛設定** を選び、 キーを押します。

温度補正
本体設定
データ管理
ユーザー目盛設定

目盛選択
ユーザー目盛設定
戻る

(2) [▲] [▼] キーを押して **ユーザー目盛1** を選択し  キーを押します。

ユーザー目盛 1
モード Dモード
Sモード
複合モード

(3) [▲] [▼] キーを押して **Dモード** を選択し  キーを押します。

* 複合モードは、Dモード/Sモード両方で目盛を作成できます。

ユーザー目盛 1
モード **Dモード**
Sモード
複合モード

(4) Dモード 246を[▲][▼]キーで選び  キーを押します。

折れ点	0
Dモード	246
含水率	

(5) 水分値12.4を[▲][▼]キーで選び  キーを押します。

折れ点	0
Dモード	246
含水率	12.4

(6) **続ける** を押して  キーを押します。

折れ点	1
続ける	

(7) (4) ~ (6)の操作を繰り返して、[表-1] ②以降を入力します。

(8) 全ての入力が終わったら[▲][▼]キーを押して **決定** を選択します。  キーを押すと、ユーザー目盛の設定が完了です。

折れ点	1
決定	
続ける	

* 複合モードで使用する場合は、Dモードの数値入力後に、Sモードの数値入力に移ります。入力方法は(4) ~ (6)と同様の手順です。

8. 測定上の注意

- 測定対象面はできるだけ平面を選び、水分検出部がよく密着するようにしてください。
- 厚さが10mm未満の材料の場合は、同一の材料を重ねて10mm以上にして測定してください。
- 水分検出部が測定対象からはみ出さないように、測定対象面は130×55mm以上にしてください。

製品の保証とアフターサービス

■ 保証書

本製品には保証書が付属しております。保証書は当社がお客さまに、記載する保証期間内において記載する条件内での無償サービスをお約束するものです。記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

■ 検査合格証

当社製造の全器に対して、当社規定の検査を実施しております。検査に合格した器体にのみ検査合格証を発行し、販売しております。本器に付属されていることをご確認ください。

■ 損害に対する責任

本製品(内蔵するソフトウェア、データを含む)の使用、または使用不可能により、お客さまに生じた損害(利益損失、物的損失、業務停止、情報損失など、あらゆる有形無形の損失)について、当社は一切の責任を負わないものとします。

■ 定期点検

本製品の性能を確認し維持するために、定期的な点検を受けられることを推奨いたします。製品の使用頻度によりますが、年1回程度を目安とすると良いでしょう。点検は本製品をお求めになった販売店、または当社へお問い合わせください。

■ 修理

動作に不具合が生じた際は、電源、入出力の接続、本書記載の操作・関連事項を再度お確かめください。それでもなお改善されないときは修理のご案内をいたしますので、本製品をお求めになった販売店、または当社へご連絡ください。

■ 校正証明書

当社の製品はISO9001品質マネジメントシステムに準拠し製造されております。お客さまのご要望により、校正証明書の発行が可能です。ただし、製品の種類、状態によっては不可能な場合があります。本製品の校正証明書発行については、お求めになった販売店、または当社へお問い合わせください。

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを固く禁じます。
- 本書の内容につきましては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書に掲載されている製品および付属品の外観・画面等は、実際と異なる場合がありますが、操作・機能には影響ありません。
- 本書の内容につきましては、万全を期して作成しておりますが、ご不明点や誤り、記載漏れ等お気づきの点がありましたら、当社までご連絡ください。
- 本書を運用した結果の影響につきましては、上項に関わらず、責任を負いかねますのでご了承ください。



株式会社ケット科学研究所

東京本社	〒143-8507	東京都大田区南馬込1-8-1	☎ 03-3776-1111	☎ 03-3772-3001
西日本支店	〒533-0033	大阪市東淀川区東中島4-4-10	☎ 06-6323-4581	☎ 06-6323-4585
北海道営業所	〒063-0841	札幌市西区八軒一条西3-1-1	☎ 011-611-9441	☎ 011-631-9866
東北営業所	〒980-0802	仙台市青葉区二日町2-15 二日町鹿島ビル	☎ 022-215-6806	☎ 022-215-6809
東海営業所	〒450-0002	名古屋市中区名駅5-6-18 伊原ビル	☎ 052-551-2629	☎ 052-561-5677
九州営業所	〒841-0035	佐賀県鳥栖市東町1-1020-2	☎ 0942-84-9011	☎ 0942-84-9012

✉ sales@kett.co.jp 🌐 <https://www.kett.co.jp/>

060494